

● 県庁で折にふれて 七五年四月以降

部長会議発言するは二人なり いずれも国の派遣部長ら

辞令抱き数千人が群れなして 庁内外をかけめぐる異様

当分は関内（かんない）の酒場潤おわん 異動の季節街は華やぐ

（関内は横浜の都心、官庁、オフィス、商店、飲食店が並ぶ）

半年で一二〇〇人を接客し 外賓一〇〇人の表敬受ける知事

煙満ち熱氣むんむん午前二時 知事査定いまようやく終わる

（長洲知事、財政危機の中で初めての予算編成に取り組む）

朝四時帰宅八時出勤 いつまで続く危機のなかの知事査定

夢と希望 語るが知事のつとめぞと 懸命にさぐる危機の脱出

財政の未曾有の危機に立ちむかう 知事の横顔 高僧のこと

大衆に手を振る知事と一人きり 書を読む知事のいと遠き距離

表彰状渡したあとに手を握り 一声かける知事を佳しとす

昼食の蕎麦屋に入り一人ずつ 握手でまわる知事のタフネス

わが仕事「知事語通訳」と言う人あり 「市民語通訳」とわれは思えり

（私の仕事の一つは、知事の考えを正確にラインに伝えること）

わが部屋（理事室）を「駆け込み寺」と言う人あり 必死の想いにこたえんと思う
(理事室には理事の私と、分野別のスタッフ数人が詰めていた)

わが部屋を「救命センター」と言う人あり 血だらけの課題運びこまれる

信大（信州大学）の教官公募に応募して 合格の報に知事室に走る

(長洲さんを知事10年で国政へと思っていた私は、知事にその気なしと見て転身を図った)

信大に行きたしと知事に告げたれば 怒りてすぐに信大に電話す

(経済学部の公募に千人が応募し、四人合格。辞退で迷惑をかけた)

●日ソ知事会議（モスクワ、ボルゴグラード、レニングラード）七七年五月

奥田奈良県知事を団長に神奈川、埼玉、新潟、福井の五人の知事、北海道、青森、兵庫など四人の副知事で訪ソ、長洲知事の秘書として随行した。

独ソ戦血の川なりしボルガ河 いま静かにチヨウザメ泳ぐ

(第2次大戦最大の激戦地、ソ軍120万、独軍85万、市民50万が死傷)

日本知事領土の話ばかりなり ソ側白けて沈黙しきり

長洲知事にロシア語渡し一分スピーチ ソ側みな起ち拍手喝采

(「ボルゴには涙、レニングには詩、モスにはドラマ、我らには友情」の趣旨を露語で)

私にもロシア語挨拶書いてくれ いい来し知事はお医者さんなり

久保秘書は頭が高いぞと吾（あ）を責めし 某県副知事大蔵の人

(私の素性を知った後は副知事扱いしてくれた)